

普及活動情勢報告（令和2年5月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

※安芸農業振興センターではコロナ対策をして普及活動をしています。

害虫をハウスへ入れない対策が大事 ～施設花き栽培での防虫ネットの普及～



農業改良普及課では、光反射資材を織り込んだ防虫ネットによるアザミウマ類の侵入抑制効果を検証しています。

今春の調査は3月から開始しており、ハウスの内と外に粘着シートを設置して、週1回、アザミウマ類の捕虫数を確認しています。調査結果と効果について、現地検討会や巡回時に生産者に説明し、防虫ネットの導入推進に取り組んでいます。

農業改良普及課は、今後もJAと協力して、施設花き栽培でのIPM技術の普及に努め、化学農薬だけに頼らない花き栽培の実現を目指して支援します。

田植え体験の実施



4月20日、東洋町甲浦地区で東洋町教育委員会主催の田植え体験学習が行われ、野根小学校と甲浦小学校の3～4年生の児童7人が参加しました。

農業改良普及課室戸支所はお米の豆知識や田植えの方法について説明しました。

苗を植える位置を揃えるための道具である「ころばし」を使っての手植え体験では、コツがわかってきたのか、ころばしを回転させる度にみなで「ヨイショ！」と掛け声をかけながら、リズムよく田植えを行っていました。

手植えの後は、田植え機の試乗も行い、児童からは「機械ってスゴイ」といった声が聞かれました。

農業改良普及課室戸支所は引き続き食育学習の一環として、8月の刈取時にも支援します。

今年はたくさん収穫するぞね！ ～ぼたなす栽培講習会～



4月22日、農業改良普及所室戸市日南地区においてぼたなすの栽培講習会を開催し、関係機関を含む17人が参加しました。

栽培講習会では、職員が今作の栽培方針を説明すると共に、初期生育を安定させるため、あんどんの設置方法を実演しました。

生産者からは「去年も採れたけど今年はもっと採れるように頑張るぞね」といった声が聞かれ、部会内で一致団結をしました。

農業改良普及課室戸支所は、今後も関係機関と連携して、ぼたなすの増収化、消費拡大に向けた支援を行っていきます。

「令和3園芸年度ハウス野菜栽培管理こよみ」を作成中！



4月23日から、JA高知県あき支所で、農業改良普及課職員とJA営農指導員で「令和3園芸年度ハウス野菜栽培管理こよみ」（以下、こよみ）の検討を始めました。

7月には生産者に配布できるよう、栽培方法や農薬情報の更新、技術に関する最新情報を盛り込むなど、こよみの改訂に取り組んでいます。

農業改良普及課では、今後も引き続きJA営農指導員と連携し、生産者の栽培管理に役立つ情報の発信に取り組んでいきます。

安芸支部園芸部園芸研究会ナス部会 ～営農相談を開催～



5月19日、JA高知県赤野出荷場でJA営農指導員と農業改良普及課職員で営農相談を開催しました。ナス生産者22人に、今後の栽培管理、ナスの生理障害対策、収入保険の案内などについて情報提供しました。

生産者からは、天候と収量の関係や収入保険の内容などについて質問があり、営農やリスク管理への意識の高さが伺えました。

農業改良普及課は、JAと協力して今後も定期的に営農相談日を開催し、生産者に役立つ情報提供に努めていきます。